

(12)(地域保健支援のための保健情報処理技術研修)
フォローアップ調査回答合計集計表

Q1. 本研修は役にたっていますか。

回 答	派遣元	研修生
1 たいへん役に立っている	5(45.5%)	4(22.2%)
2 役に立っている	5(45.5%)	12(66.7%)
3 どちらとも言えない	1(9.1%)	2(11.1%)
4 役にたっていない	0(0.0%)	0(0.0%)
5 全く役にたっていない	0(0.0%)	0(0.0%)

SQ1-1 (Q1で1, 2を選んだ方へ)どのような点で役に立っていると感じますか。(自由記載)

保健所の企画調整担当者を派遣し、日常的に行う情報のとり扱いに質の向上が図られている。特に保健所の健康問題の抽出のため、各業務担当を支援するための自信となっている。また調査研究のための統計情報の整理等に役立っている。

保健医療福祉の現場で何が求められているのか、そこで働いている方々の状況などが理解できた。情報処理能力の自己のレベルを認識できた。

個人のスキルアップとしては必要な内容であるが、業務にどのように生かしていくかという点ではやや使いこなしきれない感がある。

①業務に関する最新の専門情報を検索できるようになった②統計等を効率的に集計できるようになった。

情報の必要性を認める風潮は強いが、その情報をどのように入手して分析提供していくかを学ぶ機会がほとんどなく、貴重な研修と思われる、どんなに良い情報でも活用されなければ価値がないので。

ITを利用した手法を自己学習する道筋を身につけると共に、所属先で周りのスタッフをアドバイスができるように派遣している。各自(研修参加者)の力量ではアップと共によき相談相手になっている。

本県にとって、保健行政に関する情報収集・分析及び施策立案・評価は重要業務であるため、当該研修において、集中的に基礎事項を履修することにより、即、業務へ反映可能な実践力を養うことができる点で大変役に立っていると感じている。

健診データなど、膨大な量の情報があり、それらを評価したり、管理・事業立案のための資料作成のため、非常に役に立っていると感ずる。

事業評価に役立っている。

情報処理技術のレベルアップを図れたことと、情報管理の重要性を再認識できた。

既存データ、事業の評価は”こんな感じかな”と自己流であった。しかし研修を受け、統計学的な考え方を学習できたことで、適切な処理・考え方が行えるようになった。また、信頼性の高い情報源を数多く知ることができ、日常業務に役立っている。

地域保健に関連する情報の現状を知ることができ、必要な情報を収集することができるようになった。

①インターネットを使用しての情報収集②データベースの活用③個人情報保護についての知識セキュリティに関する認識が変わった。情報を取り扱う際に慎重になった。

①情報収集先②情報発信の一つの方法として、パワーポイント作成

インターネットにて、政府系HPから統計情報をダウンロードし、資料作成しました。(住民向け健康教育のために)。情報収集の方法を教えていただき、実際に使っています。

①ガイドラインを良く見るようになった②ネット上で信用できるサイト(minds)を見つけた。時々見えています③情報処理の必要性(政策立案のための地区診断を行う際のための処理)を感じる事ができた→H20. 4月より、大学院修士課程に進学し、SPSS等の統計処理方法を学んでいます。

エクセルを活用した図表作成、プレゼンテーション手法等については日頃活用する機会も多いため大変役に立っている。また、日頃活用するというわけではないが、「情報の信頼性」の講義のような保健情報や統計等に関するものについては、業務を進めていく上での基本的な考え方として大変参考になり、学ぶことができて良かったと思っている。

①情報処理技術に関する自分のレベルを認識できた②資料等の作成にあたって、日常のレベルで活用できるノウハウを知ることができた③各地域のリーダーとなる保健師と情報交換できた。

情報収集の点で、自分が知らなかったサイトを知ることができた。統計の基本講義(緒方先生)がとても良かったです。統計が苦手なので根本的なお話から聞くことができ、もっと詳しく聞いてみたいと思いました。

情報の検索がスムーズにできるようになった。エクセルによる集計が効率よくできるようになった。総務企画業務がおもしろいと思えるようになった。

①PC・インターネットの利用の抵抗感がなくなった②情報管理の重要性を実感した。

セキュリティ・個人情報の重要性や統計などデータ処理の入り口として役立っている。

セキュリティについて問題意識を持つようになった。情報収集する際にネットを使用しての検索方法がよくできるようになった。

情報処理をするにあたり、特にセキュリティに対する意識が高まった。意識して業務に取り組むようになった。

統計について役立っている。(青葉区は男性長寿一位になったので、データ分析等に役立っている)。

SQ1-2(Q1で4を選んだ方へ)役に立っていない理由

--

SQ1-3(Q1で5を選んだ方へ)全く役にたっていない理由

--

Q-2. 今後も本研修に職員を派遣したいと思いますか。

回 答	派遣元
1 ぜひ派遣したい	5(45.5%)
2 派遣したい	4(36.4%)
3 どちらとも言えない	2(18.2%)
4 派遣したくない	0(0.0%)
5 絶対派遣したくない	0(0.0%)

SQ2-1(Q2で4を選んだ方へ)派遣したくない理由

--

SQ2-2(Q2で5を選んだ方へ)絶対派遣したくない理由

--

Q3. 科学院の研修全般へのご意見をお聞かせ下さい。(自由記載)

公衆衛生を base とした上での分野別研修は科学院でしか、学べない状況になっている。しかし派遣という手段も財政難から難しくなっている。科学院にはぜひとも現場の従事者が活用しやすい研修ツールも開発していただきたい。

保健医療福祉関係のCIO的な要素が組み入れられていたが、中途半端な印象を受けた。CIO的な要素については他の研修生が、あまり関心を示さなかった。逆に保健の現場に密着しすぎた内容にはついていけなかった。

細かい領域のプログラムを準備していただき、各々のコースに最新の保健医療情報が盛り込まれているため、内容的にも充実していると思う。一方で今後の保健行政の動向として地域ケアや住民との協同といった地域福祉保健問題への取り組みが期待されている。今後はそういった福祉・保健領域に関するコースの充実を期待したい。

情報の技法を学ぶことはこれからますます重要となってくる。ただ情報は受け手により様々な反応を生じる危険性もある。発信した情報の評価や誤情報発信時の対応なども取り入れてもらえればありがたいと思う。

研修受講希望があるものの、業務の都合等で長期出張が困難な者もあるため、今後も遠隔教育の充実をお願いしたい。

内容が充実しているので、一定の研修期間が必要と思われませんが、地方からすると、予算を確保することが難しいので、開催会場や期間において考慮してもらえればと思います。

保健技術職員にとって研修を通じて、最新の情報を入手できることとともに、自分自身の業務に対する問題意識を改めて持つ機会を与えてくれるので、研修機関として最高の場所である。

Q-2. 本研修を他の人に勧めたいと思いますか。

回	答	研修生
1	強く勧めたい	1(5.6%)
2	勧めたい	13(72.2%)
3	どちらとも言えない	4(22.2%)
4	勧めたくない	0(0.0%)
5	絶対勧めたくない	0(0.0%)

SQ2-1(Q2で4を選んだ方へ)勧めたくない理由

--

SQ2-2(Q2で5を選んだ方へ)絶対勧めたくない理由

--

Q3. 科学院の研修全般へのご意見をお聞かせ下さい。(自由記載)

e-ラーニングが便利であった(地元で受講できたので)。

講師の方々も大変熱心にご指導いただき刺激になった。日頃の業務の中では得られない知識を得られたことが良かった。

今回のように県では、実施していない研修を行っていることが多いので、都合があれば参加したい気持ちはいつもあります。しかし、ホームページを頻回に開くわけではないので、研修をまめにチェックできていないもの事実です。

e-learningをもっと充実させて欲しい(学びたいが、長期間職場をあけることができない)

いつも、とてもためになる研修を企画してくださいありがとうございました。また機会があれば別の研修も受講させていただきたいと思っております。

全般についてはわかりません。この研修については、パソコン研修になっている部分もあり、資料作成のためのPC操作法よりは、分析・企画(施策化)などの分野を更に充実して欲しい。

紙の資料が多いと思いました。”情報処理技術研修なので、紙資料を減らす工夫が必要ではと思いました。本当はもっと長期間の研修に参加したいのですがなかなか参加できませんので、e-learningを充実していただけるとありがたいです。

保健指導そのものについて技術を高められるような学習を希望します。

私は、宿泊での研修でしたので特に困った事はありませんでしたが、遠隔からの方は課題に取り組むのに、大変そうでした。

①講師の先生方が親切だった。バリエーションがある研修だった。と1年たった今、なおさら感じております②事務職でも受講できる教科が増えたらうれしいです。

新しい情報を得られるので研修は有意義でした。また他自治体の方と話す時間も多く今でも情報交換でき、ネットワークができて良かったです。広く浅くが過ぎたように感じます。できればすぐ実践に結び付けたいので、一つの内容を深く掘り下げる研修を希望します。

研修主任の総括的コメント

本研修は、受講者にとって役立っており、職員の派遣希望もあり、さらに、他の人にも本研修を勧めたいと考えている人も多いことがわかった。今後はカリキュラムの再構成の検討も含めてさらに効果的な研修にするために遠隔教育を効率的に利用していく。

**(12)(地域保健支援のための保健情報処理技術研修(政策立案支援))
フォローアップ調査回答合計集計表**

Q1. 本研修は役にたっていますか。

回 答	派遣元	研修生
1 たいへん役に立っている	7(36.8%)	9(33.3%)
2 役に立っている	11(57.9%)	13(48.1%)
3 どちらとも言えない	1(5.3%)	5(18.5%)
4 役にたっていない	0(0.0%)	0(0.0%)
5 全く役にたっていない	0(0.0%)	0(0.0%)

SQ1-1 (Q1で1, 2を選んだ方へ)どのような点で役に立っていると感じますか。(自由記載)

統計分析ソフトの紹介や身近なソフトでできる統計分析方法が有効であった。また「相手にどう伝えるか」という点でプレゼンテーションの手法を活用し、日々の業務にいかしている。

市町村事業支援に有効と考えます。

受講者個人の力量を高める点では役に立っていると思う。組織として研修内容を活用できる体制作りができてないことが課題。

担当業務において職域との連携業務でアンケートによる実態調査を行い、分析し、H20年度の施策に生かすことができた。また、その結果をもとに市町村ヘルスプランの改定にも活かすことができた。

効果的・効率的な保健指導に必要な技術を習得できたこと。

公的機関のホームページやデータベース等からの情報収集力が向上している。

①保健活動の評価を行う時に研修であった知識・技術が活かされた。②研修後も検定等わからない所を研修講師に電話で教えていただく等、研修を通して人とのつながりができ、今後の活動に心強さを感じている。

市町村支援の場面において、課題の提示、解決策の提示の際などに、必要最小限の資料まで、わかりやすく説明する力量がついた

解析の方法を学んだことにより、地区診断等に活かしている。

①業務に関する最新の専門情報を検索できるようになった②統計等を効率的に集計できるようになった。

情報の必要性を認める風潮は強いが、その情報をどのように入手して分析、提供していくかを学ぶ機会はほとんどなく、貴重な研修と思われる。どんなに良い情報でも活用されなければ価値がないので。

ITを利用した手法を自己学習する道筋を身につけると共に、所属先で周りのスタッフへのアドバイスができるように派遣している。各自の力量(研修参加者)アップ。

本県にとって、保健行政に関する情報収集・分析および施策立案・評価は重要業務であるため、当該研修において集中的に基礎事項を履修することにより、即業務へ反映可能な実践力を養うことができる点で大変役に立っていると感じている。

健診データなど膨大な量の情報があり、それらを評価したり、管理、事業立案のための資料作成のため、非常に役に立っていると感じます。

ITを活用した手法を学習しているため、業務の中での資料の作成等に役立っている。

本県における地域診断に関する検討会等で、学んだ知識を復命する共に情報の解析及び各種指標の作成では、研修で身につけた技術を活かしている。

保健所の基本的機能に含まれる情報収集・分析・評価・発信方法について具体的に学ぶことができ、受講者はそれぞれの担当業務に大いに役立てることができている。

県保健師会において研修内容を報告し、他の保健師への情報提供を行い、地域診断における情報収集・分析・資料作成等の手法を業務に活かしている。

情報の効果的な収集方法・解析方法

事業の資料作成や説明の際、できる限り、統計情報を根拠とするよう努めるようになった。

事業の中でアンケートの作成～考察までの流れがスムーズになった。それをもとに次の事業への計画にも役立っています。

職務における統計処理等で実際に活用している。

保健情報処理に関する知識が増えた。

①統計的な考え方の習得により、施策立案の根拠が強くなった②コストパフォーマンスを強く意識するようになった③ただし、あくまで個人的な動きに過ぎず、職場全体に何かが変わったという事はない。

研修で学んだことが、現在行っている業務で活かしています。

事業の企画を行う際、どういうデータを集めることにより、エビデンスが成立するか、またはプレゼンテーションを行う上で、わかりやすい資料作成のためのソフトの活用などが現在の業務に役立っている。

研修にて保健事業を進める上で必須となる基礎知識を得ることができた為、市町村保健師等に対し、助言ができます。

統計の考え方や処理技術など

パソコンを使って演習をしたことで、実際に経験できたので、研修終了後も、調査等でとても役立っています。また、調査研究では今まで単純な考えで終わっていましたが、いろいろな方向性を考えるようになりました。パソコンが苦手な私でしたが、演習が多かったので、それなりに身につけ、他の人に伝達もしました。

①EXCELによる統計解析実習で学んだEXCEL関数などを業務の中で活かしている②保健情報の活用の仕方を系統立てて学ぶ機会となったため、情報収集から解析方法まで演習を行いながら、実践的に取り組んだことは、そのまま業務に活かしている。

①自身の調査研究している時に実際に研修内容を役立てることができた②研究研修事業において参加者に対し、助言をすることが少しはできるようになっている。

アンケート調査の処理分析等に役立っている。

残念ながら、当所にはSPSSのソフトがないので、その部分では、役立たないというか、活用できていないのですが、全体として、データ整理やプレゼン力はアップしましたし、役立っているのではないかと思います。(かつ、全国の知り合いができよく情報交換を行っています)。

文献検索等がとても効率的に行えるようになった。

研修後、保健師の有志で大田区の地域診断を行った。また、介護予防教室のデータを統計処理して示した。今後はきちんとした業務の一環として地域診断が継続できるよう働きかけていきたい。

基本的なPC作業や統計等の理解がしやすくなった。

①科学院や厚労省等のホームページや様々なデータベースにアクセスして情報を集めることが習慣となり、情報収集力が向上した②同期の研修生との間で情報交換できるようになった。

住民へのアンケート調査を実施した際、調査の企画から実施、結果解析、公表の各段階において、研修で得た知識や技術が役立ちました。

①ガイドラインをよく見るようになった②ネット上で信用できるサイト(minds)を見つけた③情報処理の必要性(政策立案のための地区診断を行う際のための処理)を感じることができた→H20. 4月より大学院修士課程に進学し、SPSS等の統計処理方法を学んでいます。

エクセルを使用する統計処理など

SQ1-2(Q1で4を選んだ方へ)役に立っていない理由

SQ1-3(Q1で5を選んだ方へ)全く役にたっていない理由

Q-2. 今後も本研修に職員を派遣したいと思いますか。

回 答	派遣元
1 ぜひ派遣したい	8(42.1%)
2 派遣したい	7(36.8%)
3 どちらとも言えない	2(10.5%)
4 派遣したくない	0(0.0%)
5 絶対派遣したくない	0(0.0%)

SQ2-1(Q2で4を選んだ方へ)派遣したくない理由

--

SQ2-2(Q2で5を選んだ方へ)絶対派遣したくない理由

--

Q3. 科学院の研修全般へのご意見をお聞かせ下さい。(自由記載)

行政予算が削除されている中、組織として派遣・教育することができなくなり、学びたいものの個人負担となってきている。受講生の負担(旅費も含めた)が減るよう遠隔地で受講できるものや短期研修の増加を希望する。

派遣の職員からは再度別コースも受講したいとの希望がでるほど好評でありました。

「日常業務で後回しになりがちだか、今必要なスキル」を学ぶためにしっかり取り組める日程で行っていただくのはありがたいです。

今回の調査対象とされた職員は、研修を受講した翌年度には異動し、当時在籍していた職員もそのあと、皆異動してしまっている。研修生の現所属を調査対象とする方が、今回の調査の趣旨には沿っているのではないかと思われる。

学習方法として、グループディスカッション等、参加型の手法が必要な研修課題が増加している。参加型研修におけるファシリテーター養成研修を行ってほしい。

情報の技法を学ぶことはこれからますます重要となってくる。ただ、情報は受け手により、様々な反応を生じる危険性もある。発信した情報の評価や誤情報発信時対応なども取り入れてもらえればありがたいと思う。

研修受講し希望があるものの、業務の都合等で長期出張が困難な者もあるため、今後も遠隔教育の充実をお願いしたい。

内容が充実しているので、一定の研修期間が必要と思われませんが、地方からすると、予算を確保することが難しいので、開催会場や期間において考慮してもらえればと思います。

Q-2. 本研修を他の人に勧めたいと思いますか。

回 答	研修生
1 強く勧めたい	5(18.5%)
2 勧めたい	19(70.4%)
3 どちらとも言えない	3(11.1%)
4 勧めたくない	0(0.0%)
5 絶対勧めたくない	0(0.0%)

SQ2-1(Q2で4を選んだ方へ)勧めたくない理由

--

SQ2-2(Q2で5を選んだ方へ)絶対勧めたくない理由

--

Q3. 科学院の研修全般へのご意見をお聞かせ下さい。(自由記載)

寄宿舍も整っており、講師陣も豪華で充実していて満足のいくものでありました。業務への取り組み方や考え方を変えることができるので非常に有意義です。

とても有意義な研修でした。フォローアップ研修があれば、ぜひ参加したいです。贅沢を言えば、私が受けたコースの場合、もう少し長く、基礎からの講座があればよりわかりやすかったかと思います(基礎がわかっている人対象ということは重々承知してはいますが)。

職場で下の立場の者がいくら頑張っても、上の意識はまったく変わらない。管理・監督職対象にこのような研修をし、国立保健医療科学院という更に上の立場から意識付けをしてもらいたい。

今回の研修は自己推薦で申込をして参加しましたが、多くの研修が本庁からの指名なので、受講が困難です。意欲のある医療従事者が参加しやすい募集方法を望みます。研修中に図書館を利用する時間がほとんどなく、時間もないカリキュラムでしたので、余裕が欲しいと思いました。

科学院に行く前は長い研修に不安を持っていましたが、本当に良い学びの機会になりました。しかし研修後は仕事の忙しさで本当は学んだものを活かせる場があったらと思いました。

研修の中に演習の時間が多く組み込まれており、より実践に近い形で業務に直結させやすいカリキュラムで大変役立っています。

県の財政が厳しい状況にあるので長期の研修は受講が困難となっているので、短期の研修の企画を多くお願いしたい。また専門職は研修の受講により、より専門知識を深める必要があることを広く情報発信し、なるべき研修に出られるよう支援をして欲しい。

施設もとても充実していて、また教授いただく先生方も有名な方ばかりなの、とてもわかりやすく、丁寧に講義いただけたこと、本当に感謝しています。これからもこのような研修を継続していただきたいと思います。

今年度の研修を同僚に進めたところ、ほとんどが参加を希望したが、日程が合わないことや2週間という期間職場をあけられないなどの理由で参加できなかった。日程や期間にバリエーションがあると良いと感じた。

できたら3日間～1週間程度の公衆栄養分野での研修を希望します。

講師の先生方が使われるスライド(パワーポイント)の中に、たまに古くなってしまったデータ等が更新されないまま出されているものがありましたので、できれば、常に最新のデータへの更新をお願いしたいと思います。

今回の受講した研修についてはわかりやすい講義をして下さる講師が多く、講義内容がわかりやすかったと思います。しかし、調査結果の解析方法(検定方法の選択含む)について、もっと詳しく学びたいと思いました。今後、その様な研修を実施していただけるとありがたいと思います。

専門性の高い研修でとても参考・学びになりました。今後も楽しみにしています。

研修前に読んでおいた方が良い本や知っておいた方が良いことなどあったら事前に教えて欲しいです。

e-learningをもっと充実させて欲しい(学びたいが長期間職場をあける事ができない)

研修主任の総括的コメント

本研修は、受講者にとって役立っており、今後も職員の派遣希望があると思われる。また他の人にも本研修を進めたいと考えている人も多い。今後はさらに効果的な研修にするために遠隔教育の効率的利用を検討している。

個別質問

(地域保健支援のための保健情報処理技術研修)フォローアップ調査

1. 本研修受講によって保健情報処理に関する知識は増えましたか

1) 増えた	28(65.1%)
2) やや増えた	15(34.9%)
3) あまり増えなかった	0(0.0%)

2. 本研修受講によって保健情報処理に関する技術は向上しましたか。

1) 向上した	18(41.9%)
2) やや向上した	23(53.5%)
3) あまり向上しなかった	2(4.7%)

3. 本研修受講前に比べて受講後に情報処理に関わる時間は増えましたか。

1) 増えた	7(16.3%)
2) やや増えた	16(37.2%)
3) あまり増えなかった	19(44.2%)
4) 減った	1(2.3%)

4. 本研修受講後に、ご自身で保健情報を整理または分析した結果を職場で発表する機会がありましたか。

1) あった (4-1にお進み下さい)	23(53.5%)
2) なかった (5にお進み下さい)	20(46.5%)

4-1.「ある」と答えた方は、そのときに本研修で学んだ内容は活かされましたか。

1) はい	20(46.5%)
2) いいえ	0(0.0%)
3) どちらともいえない	2(4.7%)

5. 本研修受講前に比べて受講後に、職場で何らかの保健情報を利用して計画立案をする際のご自分の態度は変わりましたか。

1) より積極的にかかわるようになった	26(60.5%)
2) あまり変わらない	10(23.3%)
3) そのような機会がない	6(14.0%)

6. 本研修で学んだことが、現在の業務に役立っていると思いますか。

1) 役立っている	19(44.2%)
2) やや役立っている	22(51.2%)
3) あまり役立っていない	1(2.3%)

1)または2)と答えた方→それは、具体的にはどのようなことですか。

インターネットを利用した情報検索・収集を効果的に行えるようになり、周囲にも教える事ができた。
 「情報の信頼性」の講義のように、保健情報、統計等に関する基本的な考え方を学べたことが、日常の業務を進めていく上で、役に立っている。また、エクセルを活用した図表作成、プレゼンテーション手法(パワーポイント)については大変参考となり、日ごろの業務の中でもよく活用している。

①セキュリティに関する知識②検索の方法

個人的な意識のもち方は変わったが、上の方々は変わらないし、機会もない。あくまで自己満足のレベルでは役立ったといえる。

①統計学的な考え方、もののみかたができるようになった②信頼性の高い情報源(IT)へアクセスと利用③パワーポイント作成など

①相談を受けた時など、どこからの情報をとったらよいかわかった②アンケートや事業の評価の時に、データをどう読むのか、考えるようになった。

職務上収集した情報を集めたままとせず、分析結果等を外部に示せるようになった。

管轄市町村の地域課題の抽出と、その基礎調査、その後の事業展開。

地域診断に基づいた事業を意識し、実践するようになった。また、科学的な見方や評価についても考えるようになった。

自身の調査研究と事業で研究研修の支援者の立場として役立てることができている。

まずは抵抗感がなくなり、自分の思いが少しずつ形になる事を実感できた。

アンケート調査の処理及び分析に役立っている。

情報収集の仕方、EXCELを活用した解析方法など。

健康増進計画や内容はすごいと思いました。職場に帰ってからの自分自身の整理が足りないことが反省です。

住民へのアンケート調査を実施した際、調査の企画から実施、結果解析、好評の各段階において、研修で得た知識や技術が役立ちました。

住民情報処理に関する知識が増えた事。

情報・データ収集・分析・提供。また、データから地域の健康課題を見出したり、保健事業の中で大変役に立っている。

①EXCELでの統計処理・操作方法②アンケートの作成③調査等を進める上での視点・方向性

本年、異動して業務内容が変わりましたが(知識、技術として教えていただいたことは)今も活用できています。

マニュアル作成等において、根拠が必要な際の情報収集が効果的に行えるようになってきている。

基本的なPC作業(特にエクセルを使った解析と方法等)を、積極的に使ってみようと思うようになった。

情報の検索がスムーズ。集計の効率化。

当区では今年、男性が長寿一位になったので、データ分析する上で役立ちました。

①ガイドラインをよく見るようになった②星先生からご紹介いただいたサイト(minds)をよくみるようになった③情報の統計処理の必要性を感じる事ができた。

その後の事業においても調査結果をもとに、会議を開催し、情報提供したり、県における研究会で発表をした。

市町村が行う保健事業等に対し、助言を行う事ができる。

管内の保健衛生の統計資料の分析やアンケートを作成し、事業に結びつける等、今までは単純に出てきた数字で判断することが多かったが、初めの段階から計画的にすること、分析ソフトを利用することで幅が広がり、数字をいろいろな場面で活用できるなど。

保健情報の収集

事業を企画するにあたり、根拠となる保健情報を収集するようになり、又わかりやすいデータに加工するようになったと思う。

①資料作成②保健情報の収集

①情報収集の仕方・分析など、バイアスがかからない様意識する様になった②いろいろな報告物に、いかに裏づけをきちんとするか、より強く意識する様になった。

情報収集の点で、自分が知らなかったサイトを知る事ができました。

受講当時とは担当業務が変わり、企画・立案を行うようなポジションでなくなったが、オッズ比等、統計的な情報処理についてはかかわりがあり、考え方のベースを習っていたので役立っていると思う。

情報収集時、研修で学んだサイトへアクセスする事が増えた。

科学院や厚労省等のホームページや様々なデータベースにアクセスして情報を集める習慣ができたため。従来より広い範囲の情報を収集できるようになった。

7. 総合的にみて、本研修を受講してよかったですか。

1)よかった	42(97.7%)
2)どちらともいえない	1(2.3%)
3)よくなかった	0(0.0%)

よくなかった理由

8. 本研修に関するご感想やご要望、今後受けたい研修などがありましたら、ご記入ください。

今の段階では、研修で学んできたことを全て活かしているという訳ではないが、何か疑問に思うところがあれば、研修の際の資料を出してきてみる事もあるので、役に立っていると思う。今後も更に業務の中で活かしていきたいと思っている。

有意義な研修でした。ありがとうございました。

情報に関する知識のなさや、認識不足を痛感した。日常業務の中では得ることのできない知識を得る事ができて有意義だった。

さらに統計のととり方とか、処理の仕方などの研修も受講したい。

SPSS等の詳しい使い方、統計の使い方。

同研修のフォローアップ講座、統計処理の基礎講座。

統計に関する研修を受けたい。

先生方も受講環境も良く、充実していました。今回の情報処理研修はあと1W長いとよいなと思いました。

じっくりと情報処理に関する研修が受けられ良かった。

疫学に関連する研修に興味があります。

研修の講師や内容はすごいと思いました。職場に帰ってからの自分自身の整理が足りない事が反省です。

今回受講した研修については、わかりやすい講義をして下さる講師が多く、講義内容がわかりやすかったと思います。しかし、調査結果の解析方法(検定方法の選択含む)について、もっと詳しく学びたいと思いました。今後そのような研修も実施していただけるとありがたいと思います。

当研修で情報処理・統計の基礎知識・技術が多く、習得できました。この研修をきっかけに情報処理等にも積極的に取り組めるようになりました。今後も十分に活かしていきたいです。

このような事務職でも受講できる研修を増やして欲しいです(他部県の方と悩んだり、情報提供したりできるようになるので)同じ保健行政に携わるものとして、このような機会を与えて下さっている貴職に感謝しています。

各地の保健所職員と知り合いとなれる、また技術が身につく、貴重な研修でした。

2週間という短い期間(当初は長く感じましたが)で、内容の濃い研修でした。自分自身、課題をもう少ししっかりもって、参加すれば良かったと反省しています。魅力的に感じていても、期間が長くてもいい仕事があげられないという方もいると思いますので、内容的なこともあるかとは思いますが、もう少し短期間で研修も増やして頂ければと思います。

まさに情報満載で一単限、半日単位では、未消化な部分もありましたが、パソコンやインターネット等の知識がちょっと増えた事や、政府系のHPに私達が業務上参考になるデータがこんなにあることを知ったことは業務上プラスになったと思います。ありがとうございました。

今後、保健指導そのものの技術を高めるような研修を希望します。

やや内容が広く、浅い感じがした。統計・データ分析をもっと深く学びたかったので、総論編・各論編という組み立てにして頂けるとありがたいです。

e-learningやDVD学習等をもっと充実させて欲しい。学びたい気持ちはあっても、長期間職場をあける事は難しい。IT構造改革(レセプト、特定健診関連)についても研修があれば受講したいです。

研修後のフォローアップ体制があると良い、特に応じて相談したい事があるが、どのようにしたら良いかわからなかった。

全国の国保連合会職員が受講するべきと考えます。

パソコンについては、初歩的なことでいいとのことで研修に出ささせていただきましたが、私自身もう少し技量が必要だったのではと反省しました。先生方はわかっているということで進められる事が多かったの、ついていくのが大変でした。しかし今までは保健師としての研修が多かったの、他の職種の方との研修でいろんな会話や議論ができたことは大変プラスでした。

情報について信頼性のあるものか見極めていく視点(方法)を学ぶ良い機会だったと思います。ただ、統計解析については苦手なこともあり、難しかったです(勉強不足を痛感しました)。

健康福祉分野の政策立案評価のためのマネジメント研修

疫学の基礎から学べる研修を受けてみたいです。

危機管理・対策について、新型インフルエンザ等、感染症の大流行や災害時等)。

研修主任の評価、分析、コメント

総合的には、本研修を受講してよかったと答えた人が98%であり、また、本研修で学んだことが現在の業務に役立っている(またはやや役立っている)と答えた人が98%であり、受講者にとって意義のある研修であったと思われる。受講後に職場で保健情報を利用して計画立案する際により積極的にかかわるようになったと答えた人が60%を超え、情報に対する意識や認識の変化がうかがわれる。情報処理に対するニーズは受講者の職場環境や業務内容によって異なっているものの、各受講者が何らかの形で研修の成果を職場で活かしていると思われる。今後は、情報に関するニーズの変化や多様性にこたえられるように研修内容を充実させていきたい。